

大分県エネルギー産業企業会

令和4年度総会 議案書

令和4年6月16日(木)

第1号議案

令和3年度事業実績及び収支決算について

令和3年度事業実績

1 定時総会

- ・新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、会場出席とオンラインを併用して、定時総会を開催し、役員改選、令和2年度事業実績及び収支決算、令和3年度事業計画及び収支予算を議決した。

また、公益財団法人自然エネルギー財団事業局長の大林ミカ氏から「世界と日本で進むエネルギー転換：脱炭素と自然エネルギー100%の未来に向けて」をテーマに特別講演をいただいた。

開催日 令和3年6月30日（水）

場 所 レンブラントホテル大分（大分市）

（会員の状況）

- ・会員の募集については、随時受付を行っている。

令和4年3月31日時点での会員の状況は以下のとおり。

会員数 206 ※設立時146

内訳 企業 180、大学等 6、行政機関 20

2 企画運営委員会

- ・定時総会で諮られる議案を協議した。
- ・令和3年度企業会事業の進捗管理及び県の関連施策の協議を実施した。
- ・令和4年度以降の企業会事業の協議を実施し、暫定事業計画及び予算について議決した。

（委員）

石井 源太（株式会社デンケン 代表取締役社長） ※委員長

大部 慶敬（九州電力株式会社大分支店 企画・総務部広報・地域共生グループ長）

木原 倫文（いくつものかたち株式会社 代表取締役）

鈴木 博祐（大分瓦斯株式会社 取締役）

高木 伸好（江藤産業株式会社 常務取締役）

永岡 壯三（大分石油株式会社 代表取締役社長）

林 正基（株式会社ターボブレード 代表取締役社長）

柳井 智雄（柳井電機工業株式会社 代表取締役社長）

(委員会開催実績)

第1回 令和3年6月 7日(月) ※書面開催

第2回 令和3年9月 8日(水)

第3回 令和4年2月17日(木)

3 エコエネルギーチャレンジ支援

- ・ 会員企業のエネルギーに関するチャレンジングなビジネス展開を総合的に支援した。
- ・ 再エネの新規導入に関して、会員企業同士のマッチングを行った。
- ・ 国の補助金や規制緩和要望、県外企業や大学・研究機関との連携などについて、事務局がサポートを行った。
- ・ 水素金属透過膜技術を活用した水素サプライチェーンの実証を実施した。

委託先	実施内容
(株) ハイドロネクスト	・ 大分コンビナートの副生ガスを活用した水素精製に関する連続運転試験 ・ 副生水素の製造及び大分版水素サプライチェーンの構築に向けた課題検討

- ・ 「エコエネルギーチャレンジ支援事業費補助金」の募集を行い、有識者による審査委員会の審査結果を踏まえ、5事業に補助金を交付した。
なお、令和2年度からの繰越事業(4事業)も完了した。

●大分県エネルギー産業企業会エコエネルギーチャレンジ支援事業費補助金
対象分野：「水素」、「スマートコミュニティ・RE100」、「地域課題の解決や地方創生に繋がるエコエネルギーに関する取組」

補助率：研究開発・人材育成事業費：2/3以内

販路開拓事業費：1/2以内

【令和2年度からの繰越事業分】

対象分野：グリーンリカバリー(環境に配慮した持続可能な経済復興)を加速させるための「脱炭素化」や「分散型エネルギーシステムの構築」に資する事業

補助率：上記と同じ。

【令和3年度事業分】

分野	事業主体	概要
水素	リマテック九州(株)	・産業廃棄物中間処理で発生する副生水素ガスによるエコエネルギー技術の開発。令和3年度は、商用化を想定した水素製造装置の開発を行った。
水素	佐伯重工業(株)	・ゼロエミッション外航船の市場投入に向けて、新しい設計コンセプトの構成を行った。
スマート コミュニティ ・RE100	(株)デンケン	・EVを昼間は蓄電池として活用し、朝・夕は従業員の通勤手段としてシェアすることによる新たなEMS(エネルギーマネジメントシステム)を開発した。
地域課題の解決や 地方創生に繋がる エコエネルギーに 関する取組み	(株)イーコンセプト	・竹などのバイオマスを燃焼させても煙がほとんど発生しない燃焼炉と熱電発電機を開発した。
地域課題の解決や 地方創生に繋がる エコエネルギーに 関する取組み	(株)TMT. Japan	・大分県の小水力発電に関わる企業連合の技術を活用して、カメルーン共和国の電力事情改善に貢献するための事前調査を行った。

【令和2年度からの繰越事業分】

分野	事業主体	概要
グリーンリカバリー 加速	(株)ハイドロネクスト	・水素透過金属膜技術を活用した水素精製デバイスの産業化に向け大分コンビナート企業の安全基準に対応した水素精製装置の開発を行った。
グリーンリカバリー 加速	共栄九州(株)	・太陽光パネルを「アルミフレーム」、「ガラス」、「セル」に分解し、再利用できるようにするための新たな装置を開発した。

グリーンリカバリー 加速	大分石油（株）	・竹を熱分解すると可燃性の液体（タール）と固体（チャー）ができるが、これを水蒸気と反応させて水素と一酸化炭素にし、更にこの一酸化炭素を水蒸気と反応させて水素にすることによって、高濃度水素を製造する装置を開発した。
グリーンリカバリー 加速	（株）臼杵鋼板工業所	・農業用水路を活用した小水力発電の稼働率を上げ、更なる普及拡大を図るための「電力を使わない除塵機」と「監視カメラ用電源装置」を開発した。

4 分科会・ワーキンググループ

- ・本県が有する水素ポテンシャルを活かし、県内における水素関連産業の育成に向けた取組を進めるため、企業会内に「水素関連産業分科会」を新たに設置し、会議を4回開催した。

分科会参加会員 20社（令和4年3月31日時点）

オブザーバーとして学識経験者、関連企業、行政が参加

	開催日	会議内容
第1回	令和3年 6月 8日	・分科会参加会員の紹介 ・大分県の水素に関する取組について
第2回	令和3年10月27日	・講演「九州発水素社会の実現に向けて」（九州経済産業局） ・講演「FDKにおける蓄電技術と水素／空気二次電池の開発紹介」（FDK（株））
第3回	令和4年 1月21日	・講演「水素社会実現に向けたグローバルサプライチェーンの構築」（岩谷産業（株））
第4回	令和4年 3月28日	・令和3年度の水素関連事業の状況等 ・令和4年度の水素関連予算について

- ・脱炭素社会の実現を目指して世界的に再生可能エネルギーなどの環境技術に対するニーズが高まっていることなどを受け、企業会内に「海外展開ワーキンググループ」を新たに立ち上げた。

ワーキンググループ参加会員 11社（令和4年3月31日時点）

	開催日	会議内容
第1回	令和4年 2月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーキンググループ参加会員の紹介 ・次回以降の進め方について

5 展示会への出展

- ・会員企業の活動を広く全国に知ってもらい、販路開拓を強化するために、東京都で開催された「スマートエネルギーWEEK2022」に大分県エネルギー産業企業会として会員企業3社と共同出展した。

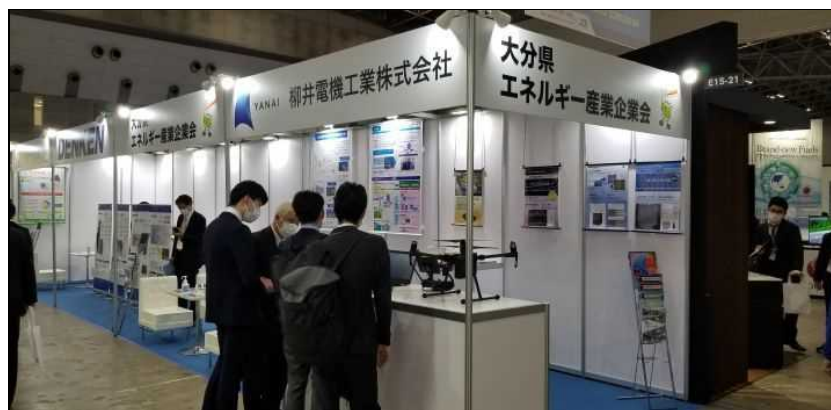
来場者数：41,751人（前年28,347人。）

商談中9件、見積依頼1件、資料請求3件の成果が得られた。

日時：令和4年3月16日（水）～18日（金）

場所：東京ビッグサイト

出展会員	出展内容
新電力おおいた（株）	SUN給プランの紹介
（株）デンケン	太陽電池パネルサービスの紹介等
柳井電機工業（株）	太陽光発電パネル検査ソフトの紹介



スマートエネルギーweek2022の様子

- ・第33回宇宙技術及び科学の国際シンポジウム（ISTS）大分県府大会の開幕イベント「おおいたそらはく」において、「大分県の水素に関する取組のPR展示」を行った。当日は、同会場内で行われたトヨタ MIRAI 試乗会の関連イベントとして、「水素燃料電池を活用した家電製品への給電実演」や企業などと合同で「水素関連の取組 PR ブース設置」を行った。

会場来場者数：2,110人

日時：令和4年2月26日（土）～27日（日）

場所：別府ビーコンプラザ（おおいたそらはくの会場スペース一部）

出 展 企 業 等	出 展 内 容
大分石油（株）	竹水素プラント研究開発PR
(株)大林組	地熱水素製造プロジェクトPR
(株)ハイドロネクスト	水素透過金属膜技術PR

6 情報発信セミナー等の開催

- ・最新情報の提供を行うことにより、エネルギー産業への取組意欲の拡大を目的に、情報発信セミナーを開催した。

開催日・テーマ	内容・講師
令和4年3月10日 カーボンニュートラル対応セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・企業のカーボンニュートラル対応にあたって、国内情勢や取組の必要性、金融面での動き、県内企業の取組事例などに関するセミナーを開催 (会場) J:COMホルトホール大分 201・202会議室 (WEB配信併用) (参加者数) 94人 (うちWEB64人) (講師) 経済産業省九州経済産業局、日本銀行大分支店、(株)大分銀行、大分製紙(株)、(株)モリショウ、(一社)省エネルギーセンター



R4.3.10 カーボンニュートラル対応セミナーの様子

- ・経済産業省が行っている事業者向け省エネ補助金を県内事業者に積極的に活用してもらうため、省エネ補助金セミナーを2回開催した。
- ・また、従来各振興局単位で実施していた「地域版セミナー&個別相談会」は、参加希望企業が多かった北部振興局管内のみ現地開催とし、その他の地域の企業に対しては、後日省エネコーディネーターが個別訪問を行うことでフォローアップを行った。

開催日	開催市町村	参加人数	講師
令和3年12月16日	大分市	19人 (WEB:12)	(株) アーストーンコンサルティング 代表取締役 鎌田 隆史 氏
令和4年 3月 8日	大分市	45人 (WEB:31)	
令和4年 3月14日	宇佐市	7人	大分県エネルギー産業企業会 省エネコーディネーター 小坂 彰 氏

7 その他

- ・新エネコーディネーター及び省エネコーディネーターを企業会内に配置し、新エネ・省エネに関する相談や情報提供を行った。

	活動事業者（団体名等）	活動内容
新エネコーディネーター	地熱ワールド工業(株) 産学官連携コーディネーター OB (株)マツヲ3企画	湯けむり発電に関する視察受入対応、資金調達に関する相談対応、再エネを活用した地域活性化に関する支援等を行った。(R3実績: <u>20</u> 件)
省エネコーディネーター	NPO法人大分県地球温暖化対策協会OB	機械製造工場、食品加工場、ホテル・旅館などを訪問し、省エネ投資に関する情報提供や国の省エネ補助金の紹介等を行った。(R3実績: <u>127</u> 件)

- ・企業会ホームページや会員向けメールマガジンによる情報提供を行った。

企業会ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 会員一覧（各会員ホームページへリンク） ✓ 各種支援制度紹介 ✓ セミナー等のお知らせ など
会員向けメールマガジン ※適宜、配信	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 国・県の補助金情報 ✓ セミナーのお知らせ ✓ その他、会員に有益と思われる情報 など

令和3年度収支決算

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日

収入の部

(単位：円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (B-A)	備考
会費	675,000	640,000	▲ 35,000	会費
負担金	50,971,000	50,971,000	0	大分県負担金
負担金 (R2→R3繰越分)	44,133,000	44,133,000	0	大分県負担金
繰越金	14,436,488	14,436,488	0	
諸収入	0	11,668	11,668	預金利息・会場予約返金
計	110,215,488	110,192,156	▲ 23,332	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (B-A)	備考
エコエネルギーチャレンジ支援事業費	98,773,000	97,089,540	▲ 1,683,460	
補助金	29,000,000	29,365,884	365,884	補助事業の増
補助金 (R2→R3繰越分)	54,743,000	52,710,333	▲ 2,032,667	補助事業の減
委託料	15,000,000	14,982,583	▲ 17,417	水素サプライチェーン業務委託の執行残
報償費	30,000	30,740	740	補助金審査会委員謝金の増
人材育成・会員交流事業費	1,990,000	1,051,728	▲ 938,272	
報償費	450,000	425,163	▲ 24,837	セミナー講師謝金の執行残
旅費	330,000	89,476	▲ 240,524	セミナー講師旅費の執行残
食糧費	20,000	0	▲ 20,000	セミナー意見交換会茶代の執行残
役務費	40,000	35,659	▲ 4,341	セミナー案内に係るFAX送信代の執行残
委託料	800,000	384,450	▲ 415,550	省エネ補助金セミナー実施委託見直しによる減
使用料及び賃借料	350,000	116,980	▲ 233,020	セミナー会場代の執行残
販路開拓・情報発信事業費	7,659,200	6,039,035	▲ 1,620,165	
報償費	3,052,000	1,801,000	▲ 1,251,000	新・省エネコーディネーターの実働に応じた謝金の減
旅費	950,000	215,425	▲ 734,575	新・省エネコーディネーターの実働に応じた旅費の減
印刷消耗品費	60,000	105,794	45,794	展示会出展経費の増
委託料	500,000	500,000	0	企業会パンフレット内容変更及び冊子印刷費
役務費	20,000	20,390	390	展示会出展パンフレット等送料の増
使用料及び賃借料	3,077,200	3,396,426	319,226	展示会出展経費の増
事務局経費	1,793,288	1,822,754	29,466	
報償費	50,000	92,490	42,490	総会講師謝金の増
旅費	200,000	180,253	▲ 19,747	総会講師、事務局職員旅費の減
食糧費	160,000	162,800	2,800	総会交流会費の増
印刷消耗品費	54,288	20,951	▲ 33,337	事務用品費の減
役務費	113,000	147,397	34,397	通信費、振込手数料の増
使用料及び賃借料	1,200,000	1,175,075	▲ 24,925	総会会場借上料の減
公租公課	16,000	43,788	27,788	講師等謝金の所得税の増
その他	0	0	0	
繰越金	0	4,189,099	4,189,099	
計	110,215,488	110,192,156	▲ 23,332	

令和3年度会計監査報告

大分県エネルギー産業企業会規約第5条第3項の規定に基づき、令和3年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日）の本企業会の会計を監査した結果、諸帳簿、預金、関係証拠書類等について、いずれも適正に処理及び保管されていることを確認したので報告する。

令和4年5月23日

監事 永松 秀基



監事 緒方 雄二



第2号議案

令和4年度事業計画及び収支予算について

令和4年度事業計画

1 基本的な方向性

- ・2050年カーボンニュートラルに向けた変革の機会を、県内エネルギー関連企業にとってのビジネスチャンスにつながるものと捉え、各種施策を企画・実施する。
- ・特に、脱炭素社会のキーテクノロジーと言われる水素に関して、令和3年度に設置した水素関連産業分科会の取組をさらに活性化させるとともに、大分版水素サプライチェーンの構築を見据えた水素の新たな利活用先を模索する。
- ・また、再生可能エネルギーに関しては、小水力発電や熱利用など本県の潜在的なポテンシャルを最大限に活かすため、県と連携して企業が投資しやすい環境を整える。
- ・併せて、会員企業によるエコエネルギーに関する新製品開発等のニーズに対応するため、従来から行っている研究開発経費の一部補助を継続する。また、セミナーや分科会を通じた企業間交流の促進や新エネ・省エネコーディネーターなどを通じた販路開拓支援も引き続き行う。

2 エコエネルギーチャレンジ支援

会員企業のエネルギーに関するチャレンジングなビジネス展開を総合的に支援

(1) 研究開発、人材育成及び販路開拓等に関する支援「水素」「スマートコミュニティ及びRE100」「その他地域課題の解決や地方創生に繋がるエコエネルギーに関する取組」

- ・会員から、「新製品や部品の開発」、「試作品の実証試験」などの事業プランを募集
- ・有識者による審査会を経て、採択された事業プランに対し、必要経費の一部を助成

【補助率】 2/3以内

【補助上限額】

- ① 1,000万円（水素、スマートコミュニティ・RE100）
※廃棄物からの水素精製にかかる事業は1,500万円
- ② 200万円（地域課題解決・地方創生関連）

【その他】単独企業による事業プランより、複数企業や研究機関、大学等と連携した事業プランを優先

(2) 分野別支援（全分野）

- ・会員企業同士の意見交換会や、先進地視察、先進企業や専門家等を招いてのセミナーによる連携会議を開催
- ・国の補助金や規制緩和要望、県外企業や大学・研究機関との連携などについて、事務局がサポート

(3) 大分版水素サプライチェーン構築を見据えた県産水素の新たな利活用先開拓のための実証事業

- ・水素の地産地消を進めるため、新たな利活用先の検討や体制の構築に向けた課題の洗い出しを実施

3 人材育成・会員交流の取組

(1) 水素関連産業分科会

- ・本県が有する水素ポテンシャルを活かし、県内における水素関連産業の育成に向けた取組を進めるため、令和3年度に設置した当分科会の活動を継続

(2) 海外展開ワーキンググループ

- ・脱炭素社会の実現を目指して世界的に再生可能エネルギーなどの環境技術に対するニーズが高まっていることなどを受け、海外での販路開拓の可能性を探るとともに、海外のエネルギー情勢等についての勉強会やセミナーなどを実施

(3) 最新情報等に関するセミナーの開催

- ・再生可能エネルギーや省エネルギー分野に係る最新技術や制度など、会員のニーズに沿ったテーマを設定し、専門家を招いたセミナーを開催
- ・特に、企業における省エネは、カーボンニュートラルに向けたベースとなる取組であり、省エネ補助金活用セミナー（毎年大分市内で開催）に加え、省エネコーディネーターによる地域巡回型の個別支援を実施

(4) 商談交流会の実施

- ・会員企業の製品サービスのPRや情報交換の場とするため、総会及びセミナーの開催にあわせた商談交流会を実施

4 販路開拓・情報発信の取組

(1) 展示会への出展

- ・「スマートエネルギーWeek 2023」等への出展

(2) 水素関連産業分科会 ※再掲

(3) 海外展開ワーキンググループ ※再掲

(4) コーディネーターの配置

- ・再生可能エネルギー分野においては、専門分野に応じた人員を配置し、会員企業の研究開発における情報提供や会員間のマッチング等を支援
- ・省エネルギー分野においては、国の補助金を効率的に活用し、県内企業製品の売り込みなどを強化

① 新エネコーディネーター

業務内容	再生可能エネルギー設備（発電・熱利用）の導入に係る相談受付、現地調査、事業性アドバイス、資金調達、各種法令手続のサポート
配置人材	【再生可能エネルギー全般】 武田 敏秀氏 【地熱・温泉熱発電・小水力発電】 (株)マツヲ3企画から派遣 【湯けむり発電システム】 地熱ワールド工業(株)から派遣

② 省エネコーディネーター

業務内容	補助、融資等の支援制度や省エネ設備に関する情報提供、支援制度の利用手続のサポート、省エネ設備サプライヤーの斡旋等
配置人材	小坂 彰氏

(5) 専用ホームページ

- ・企業会の取組について情報発信

(6) 会員向けのメールマガジン

- ・国、県等の支援施策情報をメールマガジンにより会員へ随時配信

5 その他

その他、必要な事業については、適宜、企画運営委員会において検討し、実施する。

6 参考（県としての新規施策）

(1) 再エネ導入可能性調査支援（県予算額1,000万円）

- ・本県の特徴を活かし地域と共生する再生可能エネルギーの導入促進のため、県内の中小企業等が行う事業可能性の調査（例：権利関係調査、現地測量、経済性評価のための調査など）に係る費用の一部を補助する。

【補助対象】 県内事業者

【補助率】 1／2以内

【補助上限額】 200万円

令和4年度収支予算

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

収入の部

(単位:円)

科目	前年度当初予算(A)	本年度当初予算(B)	対前年度比(B-A)	備考
会費	675,000	675,000	0	
負担金	50,971,000	65,971,000	15,000,000	県負担金
負担金(R2→R3繰越分)	44,133,000	0	△ 44,133,000	
繰越金	14,436,488	4,189,099	△ 10,247,389	
計	110,215,488	70,835,099	△ 39,380,389	

支出の部

(単位:円)

科目	前年度当初予算(A)	本年度当初予算(B)	対前年度比(B-A)	備考
エコエネルギーチャレンジ支援事業費	98,773,000	59,055,500	△ 39,717,500	
補助金	29,000,000	29,000,000	0	水素、RE100・スマートコミュニティ、地域課題等
補助金(R2→R3繰越分)	54,743,000	0	△ 54,743,000	
委託料	15,000,000	30,000,000	15,000,000	大分版水素サプライチェーン実証委託
報償費	30,000	49,200	19,200	補助金審査会委員・外部講師謝金
旅費	0	6,300	6,300	補助金審査会委員・外部講師・先進地視察旅費
人材育成・会員交流事業費	1,990,000	2,060,000	70,000	
報償費	450,000	450,000	0	セミナー及び水素分科会の講師謝金
旅費	330,000	330,000	0	セミナー及び水素分科会の講師旅費
食糧費	20,000	0	△ 20,000	セミナー及び水素分科会に係るお茶代
役務費	40,000	40,000	0	セミナー案内に係るFAX代
委託料	800,000	890,000	90,000	セミナー等のWEB配信委託料
使用料及び賃借料	350,000	350,000	0	セミナー等の会場借上料
販路開拓・情報発信事業費	7,659,200	7,652,000	△ 7,200	
報償費	3,052,000	3,052,000	0	コーディネーターの実働に応じた謝金
旅費	950,000	950,000	0	コーディネーターの実働に応じた旅費
印刷消耗品費	60,000	120,000	60,000	展示会出展時に係る消耗品費
委託料	500,000	0	△ 500,000	企業会パンフレット作成等
役務費	20,000	30,000	10,000	展示会出展パンフレット等送料
使用料及び賃借料	3,077,200	3,500,000	422,800	展示会出展料小間料、小間装飾料
事務局経費	1,793,288	2,067,599	274,311	
報償費	50,000	50,000	0	総会講師謝金
旅費	200,000	200,000	0	総会講師旅費
食糧費	160,000	20,000	△ 140,000	会議に伴うお茶代等
印刷消耗品費	54,288	130,399	76,111	事務用品費
役務費	113,000	180,000	67,000	通信費、振込手数料
使用料及び賃借料	1,200,000	1,200,000	0	総会会場借上料(オンライン配信委託含)
負担金	0	271,200	271,200	会計事務一元化に伴う県工連への負担金
公租公課	16,000	16,000	0	講師等謝金の所得税
計	110,215,488	70,835,099	△ 39,380,389	

参考資料

顧問・役員名簿

令和4年6月16日時点

【顧問】

役職	氏名	企業名等	役職	備考
顧問	広瀬 勝貞	大分県	知事	
	村上 憲郎	(株)村上憲郎事務所	代表取締役	

【役員】

役職	氏名	企業名等	役職	備考
会長	佐藤 廣士	(株)神戸製鋼所	顧問	
副会長	石井 四郎	(株)デンケン	代表取締役会長	
	和仁 寛	九州電力(株)大分支店	執行役員支店長	
	越智 義道	大分大学	理工学部長	
	山口 利幸	大分工業高等専門学校	校長	
	高濱 航	大分県	商工観光労働部長	
監事	永松 秀基	(株)大分銀行	法人営業支援部長	
	緒方 雄二	大分県産業科学技術センター	参事監兼次長	